



活動報告

4月号



初めまして! 『放課後スペース viva!』です!

「東淀川区に放課後の安心な学び場、安全な遊び場を作りたい!」

運営委員会の3人のそんな想いから「放課後スペース viva!」は始まりました。

「viva! (び場)」は「地域で一番やさしいe-ラーニング塾・朝日つむりん塾」と「宿題カフェ」、
「昔懐かしの駄菓子屋さん」の3つからなっており、中でも「宿題カフェ」は運営委員会のもっとも思い入れの強い場所です。

宿題なんてどこでもできるし、子どもたちは遊び場なんて与えられなくても、どこでも遊ぶことができます。

だけどそれは、見守ってくれる社会(大人)がいてくれてこそ。

「宿題カフェ」は安心・安全を原則としながらも、できる限り子どもたちの意思と自由を尊重する
「ひがよどキッズのサードスペース(家庭、学校に次ぐ第三の居場所)」を目指し、完全無料で今後も活動を続けていきます!

～ viva! 運営委員会一同 ～



INFORMATION

4月の イベント ご案内

ショッピング戦隊エバレンジャー!!

～スーパーニッコーでお手伝い!編～

みんながお父さんやお母さんといつも利用しているスーパー。

「商品はどうやって並べているのかな?」「お野菜はどこから運ばれてくるのかな?」「何人の大人が働いているのかな?」
身近なスーパーにもギモンはいっぱい!

スーパーでの仕事がどんなお仕事か体験してみよう!!

開催日時 4月15日(土) 10時~12時

参加費 **無料!!**

お問い合わせ **0120-939-070**



ボランティアスタッフ

大募集!!

宿題カフェでは子どもたちの宿題を見て、宿題が終わった後にいっぱい遊んでくれる

「宿題カフェの先生」をボランティアスタッフの方もお手伝いしてくれています!

あなたも「宿題カフェの先生」になってみませんか?

viva!の活動に共感していただけるボランティアさんを募集中です!

詳しくはお電話またはメールでお問い合わせください!



宿題カフェ運営についての

ご協賛のお願い

現在、「宿題カフェ」は完全無料でご利用いただいております。運営上必要な経費は全て運営委員会の持ち出しで賄っております。今後も東淀川区の子どもたちの為に「宿題カフェ」を無料で誰でも自由に利用できる場所として存続させていきたいと考えています。

つきましては、「赤の他人の子どもの居場所」ではなく「社会の宝物を育む場所」を創るという当運営委員会の方針にご理解、ご賛同をいただける企業様、個人様からのご協賛を賜りたくお願い申し上げます。

なお、ご協賛の内容につきましては、下記のようにご案内させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

個人様・・・志で結構でございます

企業様・・・1口 5,000円(何口でも結構です)

ご支援いただいた方のお名前は広報誌等で報告させていただきます。

送金先

ゆうちょ銀行 名義: 放課後スペース viva! 運営委員会

記号: 14090 番号: 57623581

ご不明点がございましたら、お問い合わせください。



住所 東淀川区東淡路1-5-51
ショッピングタウンエバーレ 地下館
営業時間 平日 15時~19時
電話 0120-939-070
メール viva.higashiyodogawa@gmail.com



EVENT REPORT



「放課後スペース viva!」では毎月さまざまなイベントを開催しています！

「子どもたちにいろんな経験をしてもらいたい！」

「思いっきり遊んで学んで欲しい！」

そんな思いを持った大人たちが viva! に集まって企画しました。

3月のイベントは「科学実験で遊ぼう！」



科学を身近に楽しく教えてくれたのは「よっちゃん先生」こと山本佳史（やまもとよしふみ）さん。

実験を始める前の簡単な座学では、ウィットに富んだトークで子どもたちの心を鷲掴みに！

子どもたちは早く実験を始めたくてウズウズしていました（笑）



最初の実験はドライアイスを使った実験でした。ドライアイスから発生した二酸化炭素にシャボン玉を吹きかけてみると、白い煙の上でプカプカと浮かび、二酸化炭素が同じ体積の空気よりも重い気体であることがわかりました。

続いての実験はフィルムケースロケット！

フィルムケースの中にドライアイスの欠けらを入れてしばらくすると…。

パン！と音をたてて勢いよく飛び出しました！

固体から気体へ変化することで体積が増えるために起きる現象です。

参加していた小学生が中学生になったら理科の授業で習うと思いますが、その時はこの日の実験のことを思い出して欲しいですね！



最後は「揚力」の実験でした。

ブロワーという送風機を使って風船やペットボトルを浮かせて遊びました。

傘を入れるビニール袋を膨らませて、中にオモリを入れたものに羽をつけて飛ばしたりと、viva! 内では色々なものが飛び交っていましたが、子どもたちはとても楽しそうでした！

楽しく科学を教えてくれたよっちゃん先生、ありがとうございました！



特別対談
viva! への想い
 ▼
viva! 運営委員会
本川 誠
中井 まひる
武田 緑

find tell do 未来を育む 場所を目指して



本川 誠
 東淀川区内で朝日新聞などを扱う株式会社 Snailtrack 代表取締役。2014年から60歳以上の区民のお困りごとを解決する「いえサポ」をスタート。「放課後スペース viva!」の運営委員長。

中井 まひる
 株式会社ソレイユ代表取締役。「地域が喜ぶことはなんでもする会社」をコンセプトに東淀川区内で2つの事業（リフォーム、福祉用具）を展開。ひがよど祭実行委員長。



武田 緑
 一般社団法人コアプラス代表。東淀川区出身。小学校教員や地域での子ども向けのプログラム開発などの経験を経て、現在は教育関係者の支援事業を展開している。



武田 「放課後スペース viva!」もスタートして8ヶ月が経ち、「宿題カフェ」を利用してくれる子どもたちも増えて来ましたね。東淀川区の子どもたちのサイドプレースになってきたのかなあと。

中井 親以外の大人との関わりって必要なって思っていますよね。

武田 子どもたちを見守る大人と言っても教育者っぽくない大人たちがいるのがviva!のいいところじゃないですかね。

中井 私は家庭つぼさを提供したいというか教育者らしく何かを教えるというよりは、お母さん寄りの付き合い方をしたいなと考えてますね。

本川 そもそも始まりは武田さんと「生きていくチカラを身につける場所」を作りたいという

中井 遊びながら社会を学べる、みたいな場所にしたいですね。「宿題カフェ」で上の学年の子が下の学年の子に宿題を自然に教えてあげるとか、そういうのがあると嬉しいです。

武田 コミュニケーション能力を身につけるには他学年との交流も重要。そういう関わりや遊びを、上手に学びに接続していきたいですね。「宿題カフェ」にあるマンガやゲームも「子どもに読ませておきたいマンガ」からピックアップしたり、ゲームも論理的思考を鍛え

本川 話をしたこと。そういう場所には教育者っぽさはいらんかもね。子どもたちが自分の意思を見つけて（find）、それを他人に伝えられるようになって（tell）、行動できるようにになる（do）。こういうチカラを身につけて欲しい。

中井 学校の勉強だけが勉強じゃない。自分が学生時代に逃げ回っていた「学校の勉強」だけが「勉強」じゃないと知ったんだからこそ、子どもたちの可能性というか未来を育む場所を作りたいなど。そういう場所があれば子どもたちが自分の意思で「学校の勉強」に向き合うキッカケが生まれるかもしれないって思った。

武田 学校ではやるよりもさらに専門的なプログラムを体験できる授業とかできればいいですね。

中井 そのためには人材も活動資金ももっと必要になって来ますね。私たちの活動に共感していただける人を増やすためにも、どんどん発信していきたいでしょう！